

女性チャレンジ応援拠点だより 2020 8月

〇●〇●〇 コラム 【夏本番、秋の実りの下準備】 〇●〇●〇

夏本番を迎えました。今年は夏祭や花火大会の中止決定が相次ぎ、夏の風物詩にあまり触れられませんが、近隣のクーラーの効いた美術館へ足を運ぶなどして、静かに過ごす夏もまた一興です。

そうした静かな時間を持ちながら、9月からの秋期活動の下準備をするのも8月の一つの過ごし方です。今年度は4月のスタート段階から社会全体が「身動き」のとれない事態となりましたから、「新しい常態」を模索しつつ、9月からは活発な動きが出てくるのではないのでしょうか。その動きにスムーズに対応できるよう、みなさんのチャレンジのし方にも、新しい工夫、試みを練って、〈秋の実り〉が豊かになるよう、備えていた



きたいものです。
そこで今月の「チャレンジが実る流儀〈ケーススタディ〉」は、
～ケース5『自分ならではの how to ハウ・ツーをそなえる』～

チャレンジからまもなく10年を迎えるAさんは、3年ほど前から活動の停滞感をもっていたそうです。このままではダメだ、何とかしなければと、専門家に相談するなどして、一念発起、活動の効果を高めるオリジナルのツール開発に専念、先ごろ試作品ができ、テスト使用したところ評判も上々、完成品へのメドがついたとのことでした。同様の活動する人たちとは一線を画すことになりそうです。

チャレンジからまだ1年半ほどのBさんは、仕事とはまったく関係のない本を読んでいて、思わず次の箇所に目を引き付けられました。『商業通信文において、その受取人が特定の態度を採用するように心理的な影響を与えるのは、手紙の文言だけでなく、その外的要素なのである。そこには手紙の外観と形式、紙質、さらに（一見したところではほとんど不可解だが）封筒と宛名の書き方さえ含まれる』。ちょうど新しい取引先へ提案書を郵送しようとしていたBさん、一から見直して、まずは事業所専用便箋をワードで作りました。基本型をつくり、「書類送付のご案内」や提案書の表紙などに編集をして今後も使っていけるようにしたのです。

今回送る提案書のプリントアウトには新しい紙を用意し、封筒も内容物にふさわしいものを少し探し回ったそうです。その甲斐あってか、無事、先方からオファーがあり、新しい仕事につながったのでした。

その他、つい最近一つの決断をされたチャレンジャーの方もいらっしゃいます。活動からまもなく3年を迎えるそうですが、これまでのやり方を一旦すべて見直すことにしたそうです。マッチングサイト、SNSの利用も中断するとか。ついつい他の人と同じようなことをやってきたけど、それが自分のやりたいことに合っているかどうか、疑問に思えてきたそうです。今後の〈流儀〉に期待をもちます。

今の時代は、「これがいいですよ、これからはこれですよ」と、手を変え品を変え、出てきます。多くの人がやり始めると、遅れをとるような気になるのも仕方ありません。選択肢が増えるのはよいことでもありますから、うまくチョイスして、〈自分ならではの〉の方法をそなえ、活躍の機会をつくりましょう。

そのチョイス自体が難しい、〈自分ならではの〉の方法を考えるのもまた難しい、という方もいらっしゃるかもしれません。そういう時は「女性チャレンジ応援拠点」へお立ち寄りください。スタッフと話をしながら、考えを広げ、深めていきましょう。みなさまのご利用をお待ちしております。

。°+°。°+°。ご来室、お待ちしております °。°+ °。°

ソーシャルディスタンス確保のため、一度の入室人数は3人までとしていますが、ほとんどの日で定員に余裕があります。換気や清拭による消毒などの徹底に加え、新たにテーブルマスク（飛沫感染防止板）を設置し、安心してお話いただける空間づくりに努めています。メールでの相談は随時、開室時間中は電話でも相談できます。お気軽に拠点をご利用ください。



女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日 ※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ～ 12:30	18:00 ～ 20:00	13:00 ～ 15:00	10:30 ～ 12:30	13:00 ～ 15:00

※開室時間内は自由に入出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

